

## 授業改善等に関する報告書（2020年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学史 b	舟見 一哉	PDF資料と音声資料MP3を配信するオンデマンド授業を行った。概ね満足との回答だが、時間配分に問題があったので、修正に取り組む。
近現代文学基礎演習 2	大石 紗都子	皆さんが精力的に参加してください、こちらとしても大変有意義な時間でした。オンデマンドではありませんでしたが、ご自身のレジュメや資料など作成、意見交換を通じて、当該分野に対する関心や理解を深めてくださったのが印象的でした。ありがとうございます。
近現代文学研究 b	ブルナ, ルカーシュ	今年的一年、お疲れ様です。4月からの卒業論文執筆も頑張ってください。
漢字書法 2	亀田 絵里香	実技科目の為、オンデマンド授業の難しさやもどかしさを痛感する一年だった。しかし毎週揮毫している動画を配信することにより、対面授業よりも回数多く（好きなだけ）、運筆の観察や研究ができるようであった。受講生のコメントの「書道の楽しさを改めて認識できた。正しい漢字の書法を身につけることができた。」という言葉が大変嬉しい。
近現代文学演習 2	河野 龍也	オンデマンド形式の演習でしたが、データベースを使用した注釈研究の方法に習熟していただくことができました。レジュメ作成とコメントに熱心に取り組んでくれた学生が多く非常に良かったです。各回の学生コメントを取りまとめ公開しましたが、教員からのコメントが十分及んでいないところがあります。遅くなって本当に申し訳ありませんが、3月中にフィードバックしますので、お待ちください。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	前期に引き続き、非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、授業を通して理解を深められた方、さらに漢文学や三国志に興味を持ったという方も多かったようで、とてもうれしいです。多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	前期に引き続き、非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、授業を通して理解を深められた方、さらに漢文学や三国志に興味を持ったという方も多かったようで、とてもうれしいです。多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。
近現代文学史 b	河野 龍也	毎回難しいテーマだったと思いますが、熱心に取り組んでくれました。課題の解答はすべてアップロードしてありますので確認してください。学生の答案紹介を楽しみにしてくださった方が多いのですが、予定どおり授業期間中にできなかったのを申し訳なく思います。重要回に関してはレビューを作成中です。3月中にお知らせしますので、manabaの通知にご注意ください。
特殊演習 2	池田 三枝子	遠隔授業が主体だったので心配でしたが、全員、無事卒論が完成して本当によかったと思います。皆、十分な資料調査が難しい中で大変よくがんばっていたので、全員が「自身の成長を実感できた」と回答しているのもまさにその通りだと思います。
国文学概論 b	棚田 輝嘉	授業評価、ありがとうございます。オンデマンド授業で、皆さん苦勞したと思いますが、対面では身につけられない力が付いているはず。将来必ず役に立つと思います。私の授業については、説明（授業内容）が、分かりにくかった点があったようです。文章だけでなく、映像・音声などを使った多角的な教授法について、勉強していこうと思います。
日本文学史 b	河野 龍也	毎回熱心に課題に取り組んでいただきましたので、非常に良かったと思います。講評の執筆にかなり時間がかかり、授業期間中に十分なフィードバックができなかったのを申し訳なく思います。現在、講評と学生の回答紹介を順次公開しています。遅くなった分資料を丁寧につけていますので、ぜひ参照して復習に役立ててください。
上代文学研究 b	森 陽香	回答してくださった方ありがとうございました。授業内容に対して、この授業方法が適切であったと感じてくださった方が多く、安心しました。manaba上からのレポート提出の方法（再提出を許可するなど）につきましては、来年度から改善できるよう考えます。

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近現代文学演習 2	棚田 輝嘉	授業評価ありがとうございます。 高い評価をいただき、ホッとしました。 オンデマンドという慣れない形式での授業でしたが、この形式でしか出来ない授業が出来たと思いますし、皆さんの努力にも頭が下がります。 自己評価が低いようですが、問題はいつも、皆さんのその時点での実力の三割増し程度を選んで出題していました。 ですから、本当はかなりの実力を皆さんは持っているし、持ったのだ、ということを知ってください。 これからは、各自、好きなミステリーを読んで、謎解きに挑戦してください。
香道 b	三條西 堯水	実践女子大学のキャンパス(教室)を使用しての初の授業でした(前期はネット授業)。コロナ渦という事で、特に実習では手の消毒等に気を遣いながらでしたが、無事終了して良かったです。 総合的には全員が満足したとしてくれたことはお世辞としても嬉しいことです。 教科書を使用しないので、事前に授業資料を配信することにより、予習等の取組も含めてより理解度が増えると感じるので、資料の事前配信をできるようにする事が大切だろう。パワーポイントを使用して授業を行う場合は、キーワードのみ箇条書きで事前配信するのではなく、パワーポイントスライドをPDF化し配信の方が良いと思った。その為にはパワーポイントの作成にも工夫が必要になってくる(アニメーションの使用等)。配信用と授業用と使い分けるのはバージョンの相違等を引き起こす要因になるため得策ではないだろう。 組香についてはもう少し説明を加えた方が分かりやすかったのかもしれない。
国語学概論 b	湯浅 茂雄	授業評価をありがとうございました。よい評価をいただきましたが、授業評価を参考にして、さらに授業改善に努めていきます。
国文学概論 b	舟見 一哉	PDF資料と音声資料MP3を配信するオンデマンド授業を行った。理解度がやや低い傾向にあることがアンケートからわかった。情報を詰め込みすぎたためであると考え。概論であることから、いま以上に初学者を意識した内容へ改善したい。
近代文学基礎講読 b	ブルナ, ルカーシュ	今年的一年、お疲れ様です。前期と違って後期はZOOMの授業となり、レポートとミニ発表で準備も大変だったと思いますが、みなさん、よく頑張りました。来年も頑張ってください。
国語学演習 2	福嶋 健伸	オンライン授業、しかも履修者108名という、極めて苦しい中での授業であった。しかし、授業準備にかなりの時間をかけたこともあって、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」は、平均を上回っている。かつ、「オンデマンドでも学生が積極的に参加できる場であったので、自宅にいても授業にしっかり参加できているようで、充実した内容でした。」「苦手なこと面白さがあれば楽しく学べることを知りました。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。
国語学演習 2	湯浅 茂雄	コロナ下で、授業の実施内容に足りない点もあったと思います。 評価を参考にして改善に努めていきます。
中国文学演習 2	田中 靖彦	前期に引き続き、非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。 対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、授業を通して専門的知識を深められた、卒論の準備を進めることができたというご意見もいただき、とてもうれしいです。多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。
特殊演習 2	山内 博之	決して十分だったと思っているわけではありませんが、manabaでのやりとりが命綱だったので、毎回、心を込めてコメントを書こうと思いました。 前期は、人によってかなり進捗状況にばらつきがありましたが、後期になってようやく足並みがそろってきました。後期から、個別面談を始めたのがよかったのかもしれない。 やはり、対面とオンデマンドのバランスが大切なのだと思いました。
特殊演習 2	舟見 一哉	学生への周知が疎かになり、アンケート結果を得られなかったことを深く反省する。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	前期に引き続き、非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。 対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、授業を通して理解を深められた方、さらに漢文学や三国志に興味を持った方も多かったようで、とてもうれしいです。多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語学研究 b	吉田 雅子	アンケートへの回答、ありがとうございました。今後の授業運営の参考にさせていただきます。 期末レポートは期待以上の出来のものがたくさん提出されていました。受講生の皆さんのまじめな取り組みが成果として表れたと思いました。 授業で学んだことを、今後ご自分の専門分野の勉強にいかしてってください。
日本語文法論 b	福嶋 健伸	オンライン授業、しかもリメディアル教育を射程においた古典文法の授業という、極めて苦しい授業であった。しかし、授業準備にかなりの時間をかけたこともあって、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」は、平均を上回った。かつ、「資料がとても面白く、初めからとても授業に集中できる資料でオンデマンドでも十分に勉強する事ができた。」 「毎回授業後に、アンケート欄で授業の復習をするので学んだことを振り返ることができてたいへん良かった。グループワークのおかげで、友達もできて嬉しかった。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。一方、授業準備の時間があまりに多く、この点は課題といえる。
中国文学史 b	秋谷 幸治	本授業はmanabaのコースニュースとアンケート機能のみを用いてオンライン授業（オンデマンド型）を進めていきました。オンライン授業を進めるに当たっては、極力シンプルな形式にすること、毎週、同じ時間に適量の課題を出すこと、分かりやすく丁寧に説明すること、必ずコメントを返すこと、多く学生とコミュニケーションをとることを心がけました。授業評価アンケートの結果を見ると、「わかりやすい説明とちょうどいい分量の授業内容だったため、精神的に余裕をもって受講できた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。一方で学生同士のコミュニケーションの場をほとんど設けられなかったことは、反省点であったと思います。受講生のみなさん、オンライン授業に協力、本当にありがとうございました。一日もはやく本来の大学生活が戻りますことを切に祈っています。
特殊演習 2	田中 靖彦	非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。
特殊演習 2	湯浅 茂雄	コロナ下におきましても、皆さんはよく頑張ってくれました。評価を参考にさらに改善に努めていきます。
中国文学研究 b	秋谷 幸治	本授業はmanabaのコースニュースとアンケート機能のみを用いてオンライン授業（オンデマンド型）を進めていきました。オンライン授業を進めるに当たっては、極力シンプルな形式にすること、毎週、同じ時間に適量の課題を出すこと、分かりやすく丁寧に説明すること、必ずコメントを返すこと、多く学生とコミュニケーションをとることを心がけました。授業評価アンケートの結果を見ると、「とにかく小説を読むことが楽しかった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。一方で学生同士のコミュニケーションの場をほとんど設けられなかったことは、反省点であったと思います。受講生のみなさん、オンライン授業に協力、本当にありがとうございました。一日もはやく本来の大学生活が戻りますことを切に祈っています。
近世文学演習 2	佐藤 悟	文献の扱い方を覚えてくれて良かったと思います。
漢文学基礎演習 2	秋谷 幸治	本授業はmanabaのコースニュースとアンケート機能のみを用いてオンライン授業（オンデマンド型）を進めていきました。オンライン授業を進めるに当たっては、極力シンプルな形式にすること、毎週、同じ時間に適量の課題を出すこと、分かりやすく丁寧に説明すること、必ずコメントを返すこと、多く学生とコミュニケーションをとることを心がけました。授業評価アンケートの結果を見ると、「授業の内容もわかりやすく、集中して取り組める量の課題だったので学んでいて楽しかった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。一方で学生同士のコミュニケーションの場をほとんど設けられなかったことは、反省点であったと思います。受講生のみなさん、オンライン授業に協力、本当にありがとうございました。一日もはやく本来の大学生活が戻りますことを切に祈っています。
近世文学研究 b	武藤 純子	コメントがないのでコメントできません。
近現代文学演習 2	ブルナ, ルカーシュ	今年の一年、お疲れ様です。4月からの卒業論文執筆も頑張ってください。
特殊演習 2	佐藤 悟	提出者がありませんので、コメントはありません。
古典文学基礎講読 b	武藤 純子	2回分のみ担当したが、当該講義分みのデータが抽出できないため、理解度・満足度ははかりかねる。ただし、基礎講義であるため、入念に準備したうえでさらなる改善は必須であると思われる。

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 2	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、4年間の大学生活、お疲れ様です。今年是最後の一年なのに、みんな顔を含ませる対面の授業が一度もなかったのはとても残念ですが、皆さんよく頑張って、優れた卒業論文を書きました。卒業おめでとうございます。これからも頑張ってください。
特殊演習 2	河野 龍也	オンラインでのゼミ運営でしたが、毎週卒論の内容が深まっていく過程を皆で共有することができ、私にも楽しい時間でした。卒論での努力をぜひ今後も活かしてください。
国語学概論 b	三好 伸芳	後期では、全ての授業をビデオ通話ツールを使用したリアルタイム形式で実施した。課題の量については、前期に引き続き肯定的なコメントがあったが、オンラインの場合に少し質問しにくいというコメントが散見された。質問機会および時間について十分に確保しているが、よりコミュニケーションがとりやすい雰囲気を作っていきたいと考える。
国語学概論 b	福嶋 健伸	オンライン授業、加えて1年生の授業とあって、極めて苦しい状況であった。かなりの時間をかけて授業準備をし、できる限り、横の繋がりを意識できるような授業を展開した。その結果、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は、平均を上回っている。加えて、「プロジェクト機能を取り入れた授業は初めてだったのですが、今年度になり初めてクラスや同じ授業を受けている友人の存在を感じながら授業することができて嬉しかったです。人間のUGIについての話が一番興味深くもっと学び、詳しく研究したいと思いました。オンデマンド型でも文句なしの素晴らしい授業でした。次先生の授業を受けるときは是非対面式で受けたいです。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。一方、授業準備の時間があまりに多く、極めて大変であった。この点は課題といえる。
国文学概論 b	佐藤 悟	コメントを書いてくれた皆さんには特に申し上げることはありません。私は対面で授業をやりたいと言うことが、一年を通じてよく分かりました。暗い画面に向かって話すのは辛いものがあります。
上代文学史 b	池田 三枝子	回答者数が少なかったので判断に迷うところですが、1名が「各回の授業の進むスピードの適切さ」について「どちらとも言えない」と回答しているのは残念です。対面授業からオンデマンド授業となるにあたり、総合的なテーマは変更せずに、各回の学習内容だけを多少変更したのですが、オンデマンドのみで扱うのにはテーマとして難しい部分があったかもしれないというのが反省点です。
中古文学基礎演習 2	木下 綾子	まずは、期末の忙しい時期に回答してくれた学生に感謝します。教員側の呼びかけが足りず、回答者数が少なかったことは反省点のひとつです。この科目は、学生が前もって口頭発表の資料を教員にメール添付で送り、教員が manaba にアップロードして共有し、手元で添削、授業当日は Google Meet により同時双方向型で口頭発表、討議、指導を受けるという形態で行われました。準備段階においては、図書館の使用が大幅に制限されていたため、教員側が必要な資料を電子化して manaba に掲示、学生がダウンロードして手元に備えました。お互いに初めてのオンライン授業であったため、掲示する資料の量や形式からして工夫を重ね、必要なことが出てくればそのたびに学生と話し合い、教育効果が高く、かつ無理のない形態を探りました。みなさんの回答からはオンラインの形態に関しても、個々の理解度や全体においても満足度の高さが伺え、自由記述欄にも具体的かつ熱心なコメントが寄せられ、ありがたい限りです。しかし、それに比してこの分野をさらに専門的に学びたいという回答は多くはありませでした。2年生であるという学年の問題もあるかと思いますが、今後、教員自身もさらに研究、および講義方法において研鑽を積み、平安文学の魅力を伝えるとともに、事前事後の対面・メールでのフォローに力を入れる所存です。
中古文学演習 2	舟見 一哉	学生への周知が疎かになり、アンケート結果を得られなかったことを深く反省する。
日本語教育学演習 2	山内 博之	前期は、負担が重くなり過ぎないように、ということにもすごく注意を払って課題を出していたのですが、後期は、「力をつけるのに最も効果的である」ということに重きをおき、そのため、「負担がかなり重いかもしれない…」と思いつつも毎週課題を出していました。二義文や類似表現の分析を通して、日本語を分析する楽しさを少しでも感じてもらえたのなら、本当にうれしいです。1年間、ありがとうございました。

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語史 b	福嶋 健伸	<p>オンライン授業、加えて140名を超える履修者として、極めて苦しい状況であった。また、国語史の面白い授業というは極めて困難であるが、授業準備にかなりの時間を割いたこともあって、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は、平均を上回っている。コメントも、「オンデマンド授業は、場合によっては分かりにくかったり、姿が見えないことから教員が冷たく感じられたりとデメリットが多いと思いますが、福嶋先生の授業はまったくそんなことはなく、分かりやすく、そして先生の気遣いなどが温かく、最後まで前向きに学ぶことが出来ました。ありがとうございます。」「双方向で先生の授業を受けたいが、このご時世なのでオンデマンド型でも仕方ないかと思っていた。実際受けてみるとオンデマンド型でも充実していてとても学びやすかった。オンデマンド型が一番相応しいと断言まではしないが、オンデマンド型の授業の中でとても工夫していただいて満足できた。コースニュースが先生の話し口調に近くて安心した。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。一方、授業準備の時間があまりに大変であった。この点は課題といえる。</p>
中古文学演習 2	木下 綾子	<p>まずは、期末の忙しい時期に回答してくれた学生に感謝します。教員側の呼びかけが足りず、回答者数が少なかったことは反省点のひとつです。この科目は、学生が前もって口頭発表の資料を教員にメール添付で送り、教員が manaba にアップロードして共有し、手元で添削、授業当日は Google Meet により同時双方向型で口頭発表、討議、指導を受けるという形態で行われました。準備段階においては、図書館の使用が大幅に制限されていたため、教員側が必要な資料を電子化して manaba に掲示、学生がダウンロードして手元に備えました。</p> <p>お互いに初めてのオンライン授業であったため、掲示する資料の量や形式からして工夫を重ね、必要なことが出てくればそのたびに学生と話し合い、教育効果が高く、かつ無理のない形態を探りました。みなさんの回答からはオンラインの形態に関する満足度の高さが伺え、自由回答欄においても例年より伝わりやすい発表を心がけることができてかえって良かったというコメントを得られたのは幸いです。また、全体としても満足度の高さや、この分野をさらに専門的に学びたいという回答が多かったのはありがたいです。ただし、説明や提示資料の分かりやすさについては課題が見出せるので、今後はさらに背景までよく説明し、事前事後の対面およびメールでのフォローを充実させたいと思います。</p>
仮名書法 2	伊藤 文生	<p>具体的に成長を実感したことについて、「仮名文字を読んだり書いたりすることが以前よりスムーズになった。」「仮名文字について興味を持つようになった。」と回答いただいたほか、学修の成果およびこの授業についてのご感想・意見として、以下のようなコメントをいただいた。</p> <p>「様々な文字を鑑賞する事で新たな発見が出来た。」「授業外で筆やペンで字を書く際には、気を付けたいポイントを意識するようになった。」「文字について改めて考える良い機会になった」「変体仮名の読みなど基礎的なことから、仮名書法について広く学び、知識をつけることができた。」「仮名書法を様々な視点から学ぶことができた」「仮名文字が結構すらすらと読めるようになってきた」「仮名文字の正しい書き方や読み方を習得することができた。様々な書道家による仮名作品の鑑賞と心構えを聞くという活動を通して、仮名書道の奥深さを感じ、仮名書法について興味を持つことができた。」「万葉集、古今集を通して変体仮名を学び、現代の文字に至るまでの変遷を知ることができました。オンラインという形ではありましたが、文字の形から筆の運び方を学び、正しく仮名を書くことを意識しました。また、授業内で閲覧した動画によって、より理解を深めることが出来ました。」「毎回の小テストをこなし、またZoomにも毎回参加して欠席すること無く取り組めた。」「古筆の美しさを感じながら臨書をし、自主学習を進めると共に、書道科の教師として生徒に教えるための自信をつけることができた。」「授業内容から学んだことを生かし、今後も自主学習を進めていきたい」。</p> <p>以上。</p> <p>改善を希望する点として、「声がずっと聞きづらいう上に無駄話が多かったように思える。」という意見があった。しっかりと反省して、来期の授業ではできるかぎり改善したい。</p>
中古文学研究 b	舟見 一哉	<p>学生への周知が疎かになり、アンケート結果を得られなかったことを深く反省する。2名からの回答だが、授業スピードに問題があったことは明白、改善する。</p>
日本語教育文法-中級-	山内 博之	<p>前期に比べて、内容がかなり難しくなったと思います。できるだけわかりやすく説明したつもりではいるのですが、あまり自信がありません…。</p> <p>「日本語は面白い！」と少しでも思ってもらえたのなら、とてもうれしいです…。</p>

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
仮名書法2	伊藤 文生	<p>具体的に成長を実感したことについて、「仮名文字を読んだり書いたりすることが以前よりスムーズになった。」「仮名文字について興味を持つようになった。」と回答いただいたほか、学修の成果およびこの授業についての感想・意見として、以下のようなコメントをいただいた。</p> <p>「様々な文字を鑑賞する事で新たな発見が出来た。」「授業外で筆やペンで字を書く際には、気を付けたいポイントを意識するようになった。」「文字について改めて考える良い機会になった」「変体仮名の読みなど基礎的なことから、仮名書法について広く学び、知識をつけることができた。」「仮名書法を様々な視点から学ぶことができた」「仮名文字が結構すらすらと読めるようになってきた」「仮名文字の正しい書き方や読み方を習得することができた。様々な書道家による仮名作品の鑑賞と心構えを聞くという活動を通して、仮名書道の奥深さを感じ、仮名書法について興味を持つことができた。」「万葉集、古今集を通して変体仮名を学び、現代の文字に至るまでの変遷を知ることができました。オンラインという形ではありましたが、文字の形から筆の運び方を学び、正しく仮名を書くことを意識しました。また、授業内で閲覧した動画によって、より理解を深めることが出来ました。」「毎回の小テストをこなし、またZoomにも毎回参加して欠席すること無く取り組めた。」「古筆の美しさを感じながら臨書をし、自主学習を進めると共に、書道科の教師として生徒に教えるための自信をつけることができた。」「授業内容から学んだことを生かし、今後も自主学習を進めていきたい」。</p> <p>以上。</p> <p>改善を希望する点として、「声がずっと聞きづらいう上に無駄話が多かったように思える。」という意見があった。しっかり反省して、来期の授業ではできるかぎり改善したい。</p>
近現代文学研究 b	井原 あや	<p>本授業は、「近代文学とジェンダーの関係を検討し、文学作品の背後にある社会規範や構造を読み解くこと」（「近現代文学研究b」シラバスより）をテーマに、太宰治の短篇や中篇小説を考察した。具体的には、同時代評や先行論文を読み、歴史的背景をおさえつつ、ジェンダーの視点を取り入れて小説を分析することを目指した。また、受講生の個々の質問に対しては、manabaの「個別指導コレクション」を活用した。</p> <p>アンケート結果を確認すると、授業全体および自由記述欄も含め、概ね良好な回答が得られたので、シラバスに示した到達目標は受講者と共有・達成できたと思われる。授業では受講者の理解が深まるよう、先行論文や参考文献の一部を引用し、それらの読み方を示した解説文もまとめたプリントを作成・配付し受講生の理解を深めることが出来る授業を目指した。また、今年度はオンライン授業（本授業はオンデマンド授業）であったため、受講生同士が意見交換ができるようmanabaの「プロジェクト」を利用して意見交換の場を設けた。そうした授業作りが自由記述欄の「同時代評などを通して作品が当時どのように評価されていたのかを知り、作品、作家についてより深く理解することが出来た」「授業資料がわかりやすかった」「丁寧な解説があるため、オンデマンドでも不便を感じなかった。実際に会うことはなかったが、プロジェクトを利用して皆の意見を見ることができてよかった」といった意見に結び付いたと思われる。今後も、受講生の興味関心に沿いつつ、受講生自身が考え、意見を交わしあいながら学ぶことの出来る授業作りを目指したい。</p> <p>一方で、自由記述欄に、プロジェクトでの意見交換は、最初に書いた人の意見にみんな引きずられるように感じるという意見、プロジェクトのコメントを更新すると全受講者にメールがいくため、深夜の更新は憚られたという意見もあった。特に、上記の意見のうち、manabaの「プロジェクト」にコメントを入力すると全受講者にメールが届くという点については、受講生が利用するmanabaにも解除方法（「プロジェクト」のコメントが毎回メールが届かないようにする設定）があるはずなので、授業開始時に教員から説明すべきであったと反省している。</p> <p>こうした授業内容以外の点も含め、オンライン授業では受講生一人ひとりが理解できるよう、より丁寧な説明を心掛けたい。</p> <p>◆太宰の短篇・中編小説を皆さんと様々な角度・視点から読み解くことを試みた授業でした。これまでにないオンライン授業（オンデマンド授業）という形で、試行錯誤の連続でしたが、意欲的に授業に取り組んで下さる方が多く、皆さんとともに私も勉強しながら進める授業でした。後期の間、本当にありがとうございました。</p>
Japanese Linguistics	山内 博之	<p>「日本語について英語で説明する」という毎週の課題に、みなさん、とても熱心に取り組んでくださり、ありがとうございました。</p> <p>みなさんが書く英語の分量がどんどん増えていき、学期の最後の方は、全部読むのがすごく大変でした…。</p> <p>「ごく簡単な文であれば苦もなく作れる」という最低限の英語能力は必要ですが、そこさえクリアできれば、あとは、どんなことをどのように話すか、で勝負が決まります。</p> <p>外国語を話す時でも日本語を話す時でも、「わかりやすく説明できる能力」が決定的に重要なのだということを、少しでもわかってもらえたら、とてもうれしいです。</p>

[2020（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習2	棚田 輝嘉	<p>授業評価ありがとう。                      本当に、皆さんとは会う機会が少なく、とても残念でした。                      でも、卒業後も「先生」だから、いつでも遊びに来てください。                      コンパもやりましょう！                      高い評価をいただき恐縮しています。アンケートに回答しなかった人たちも、同じように満足してくれているとうれしいのですが。</p>
上代文学演習2	池田 三枝子	<p>回答数が少なかったので判断に迷うところですが、1名が「自身の成長の実感」について「どちらとも言えない」と回答しているのは残念です。オンデマンドとZoom併用の授業でしたが、Zoomでの演習に際して、「討論」の時間を多く取るようにしていましたが、もう少し「指導」に時間を割り振るほうが事後学修における方向性が明確になったのかもしれないというのが反省点です。</p>
特殊演習2	福嶋 健伸	<p>学生達が、特殊演習は授業評価をしなくてよいと勘違いをしていたようである。来年度からは、周知をさらに徹底したい。</p>